

# シソサビダニを防除してシソモザイク病を抑えよう！

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月

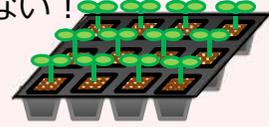
シソモザイク病はシソサビダニによって伝染します！

シソサビダニ侵入警戒時期

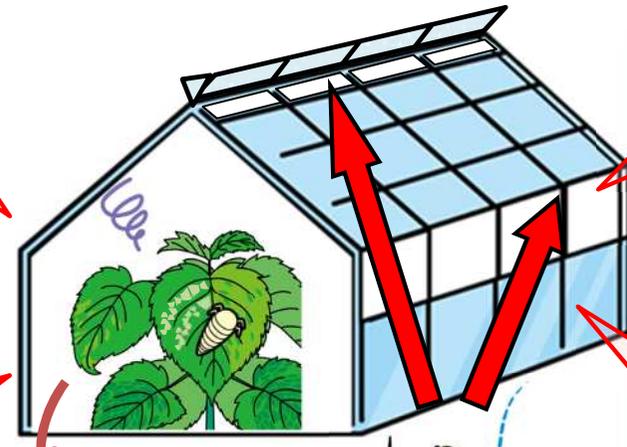
シソモザイク病発生警戒時期

施設内

●健全苗の使用！  
育苗期から防除を実施して施設に持ち込まない！



●施設内の感染株は除去！  
ほ場内で発生した感染株は抜き取りその場でビニル袋に入れ密閉処分。



●防虫ネットで入れない！  
目合い0.6mm以下の防虫ネットで施設内に入れない！

●感染株を確認したら、すぐ防除！  
(収穫期の場合)  
・アニキ乳剤（収穫前日）  
・コロマイト乳剤（収穫前日）で防除。  
・それ以降も通常防除に加え、これら農薬の散布間隔が1ヶ月を超えないように散布。

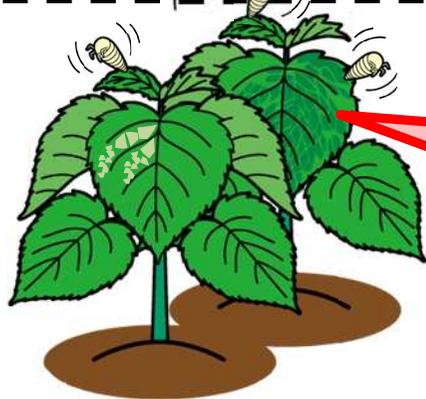
野外

シソサビダニ

発生始まり



シソ・エゴマで増殖



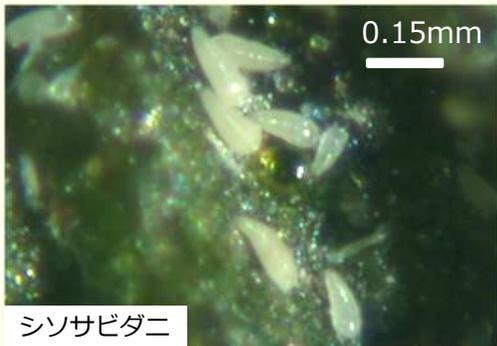
風による分散・シソモザイク病の伝染

●野外の感染株に注意！  
・施設周辺にシソモザイク病に感染したシソがないか確認。  
・見つけ次第、所有者の許可を得て株ごと除去または防除。

※実際のシソサビダニは肉眼では見えません。

## シソサビダニ

- 体長約0.15～0.2mm。微小なため、肉眼では観察できません。
- シソモザイクウイルスを媒介します。
- 風に乗って移動します。
- 多数寄生すると、「さび症」を発生させます。
- シソ属（青シソ、赤シソ、エゴマ）のみに寄生します。



シソサビダニ



シソサビダニ



シソのさび症



エゴマのさび症

## シソモザイク病

- シソモザイクウイルス (Perilla mosaic virus, PMoV) による病害。
- シソサビダニ以外での伝染方法は確認されておらず、土壌伝染や種子伝染、管理作業での汁液伝染はありません。
- 夏から秋にかけて多く、サイドや出入り口などの開口部に多く発生します。



### シソサビダニに対する防除薬剤 (平成31年1月7日現在)

商品名	成分	希釈倍数	使用時期	使用回数
コロマイト乳剤	ミルベメクチン	2000倍	前日	2回以内
アニキ乳剤	レピメクチン	2000倍	前日	3回以内
アフーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩	2000倍	7日前	2回以内
モレスタン水和剤	キノキサリン系	3000倍	10日前	3回以内
マッチ乳剤	ルフエヌロン	2000倍	14日前	2回以内
サンマイトフロアブル	ピリダベン	2000倍	21日前	1回

### 連絡先

愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部  
病害虫防除室

〒480-1193

愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1 - 1

電話 0561-62-0085(内線 471)

FAX 0561-63-7820

Eメール byogaichu@pref.aichi.lg.jp

HP <http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/>